

ぐんま緑の県民税(森林環境の保全に係る県民税均等割の超過課税)の使い道

目指すべき目標 1
豊かな水を育み、災害に強い森林づくり



手入れの必要な森林
立木が混み合い、日が差し込まず、下草が消失する。
雨水は地表を流れ、土壌が浸食されやすい。



必要な手入れを行った森林
日が差し込み、地表の植生が豊かになり、土壌浸食を防ぎ、水を蓄える力が増す。
木が元気になる二酸化炭素をたくさん吸収する。

目指すべき目標 2
里山・平地林等の森林環境を改善し、安全・安心な生活環境を創造



ササの繁茂した平地林
荒廃した平地林、里山竹林は農作物への被害を与える野生鳥獣のすみかとなるほか、交通の障害となったり、治安面、景観面でも問題となっている。



管理の行き届いた平地林
灌木やシノ等の刈り払いや、荒廃竹林の整備により、森林の持つ公益的機能の維持・増進が図られる。また、見通しがよくなることで獣害対策や治安・景観の問題が改善し、地域の安全・安心な暮らしを守ることができる。

ぐんま緑の県民税を活用した施策の体系（案）

I 森林環境の保全

（事業名）	（目的・効果）	（事業内容）	（事業量）
水源地域等の森林整備	条件不利地森林整備	・森林の公益的機能の維持・増進 ・災害に強い森林づくり ・管理コストの低い森林づくり	・条件不利により林業経営が成り立たず放置されている人工林を整備 ・間伐、針広混交林化、広葉樹林化
	水源林機能増進	・水源林の水源涵養機能の維持・増進 ・飲用水の安定的な確保	・簡易水道等の上流に位置する森林を整備し、水源涵養機能などの増進を図る
	松くい虫被害地の再生	・森林の公益的機能の向上と生態系の回復を図る	・松くい虫被害を受け、やぶになった森林をコナラやスギなどの森林に再生
ボランティア活動・森林環境教育の推進		・森林ボランティアへの一体的な支援 ・県民の森林ボランティアへの参加促進 ・森林環境教育の推進により県民の森林への理解促進	・森林ボランティア情報の収集と提供、指導や資機材の貸出など、一体的なサポートを行うボランティアセンターの整備 ・森林環境教育を推進するため、専門知識を有した指導者の養成 ・森林の重要性などの普及啓発

II 市町村提案型事業

市町村提案型事業等	地域の実情に合わせた、きめ細かな取り組みを実施 【事業内容】 ・荒廃した里山・平地林の整備 ・貴重な自然環境の保護・保全 ・森林環境教育・普及啓発 ・森林の公有林化 ・独自提案事業	・市町村やボランティア団体などが行う事業の支援
-----------	--	-------------------------

III 制度運営に係る事業

広報・第三者機関運営等	・県民意見の反映 ・事業の透明性の確保	・事業の内容検討・実績評価・効果検証を行う第三者機関の運営 ・新たな制度の普及啓発 など
-------------	------------------------	---